

佳作

御手洗けい谷

岡山県 倉敷市立連島神亀小学校六年 大西 優太郎

ぼくは、クライミングをしています。クライミングと言っても、室内のジムで登るクライミングと本物の岩を登るクライミングがあります。これまでぼくは、ジムで登っていたけれど、ずっと本物の岩に登ってみたいと思っていました。今年の夏休み、御手洗けい谷に一緒に行かないかとさそわれ、行きました。御手洗けい谷ではすごい自然の中で、ジムや家では経験する事ができないたくさんのことを感じて、過ごす事ができました。

まずすごいと思ったのは、岩の大きさや色、数やさわった感じです。御手洗けい谷に着いて登る岩をさわると、ふだんさわっているようなざらざらしている石とはぜんぜんちがって、すごくつるつるとした手ざわりをしていました。だから、岩を登るときに持ちにくかったです。また岩の多さにもびっくり

しました。御手洗けい谷には、数えきれないほどの岩があり、その岩は大きさ、色なども全てちがいました。ぼくが住んでいる所では、これほどの大きい岩は見えないから、御手洗けい谷に行つてからすごくおどろきました。

次におどろいたのは、ぼくが住んでいる所には無い植物がある事や、水がすごくきれいだった事です。御手洗けい谷は、木や植物に囲まれていました。そこで深呼吸をすると、とても気持ちよく、空気がきれいな所だと感じました。それは、周りに生えている植物のおかげなんだな、と思いました。また、水のきれいさにもおどろきました。色は水色っぽいけれど、とうめいですけていて川の底が見えるほどでした。すぐにでも飲めそうでした。川の流れもすごいなと思いました。川の上流なので流れが速く、うきわでういていると、すぐ流されそうになりました。だから川はあぶないんだなと思いました。川に入っていると、目の前にアユやアブラハヤなどの魚がいて、ぱいいたから、びっくりしました。とてもきれいな川でした。

ぼくは、はじめ本物の岩を登るとジムの中で作られたホールドを登るのは、あまりちがいが無いだ

ろうと考えていました。だけど御手洗けい谷に行つて、室内で登るのはちがうおもしろさや楽しさがあることに気づきました。本物の岩を登るのは、ただ登るだけじゃなくて、その周りの自然のすごさを感じながら登ります。川の流れや空気のおいしさ、ゴツゴツした岩の手ざわりと感じる事がたくさんありました。だからすごく楽しかったのだと思います。御手洗けい谷の自然のすごさを、これからも体験したいし、色んな人にも楽しんでもほしいと思いました。だからこそ、そこにある自然をぼくは守っていきたいなと思いました。ぼくができる事は、その場所のルールに従う事やポイ捨てをしないなど、考えたらいろんな事ができるなと思いました。これからも、ずっと自然の中で遊ぶために、自然を守っていきます。